

1月22日 (日)

午後1時15分～4時45分 (開場1時)

場所: 港区立産業振興センター・ホール大

東京都港区芝 5-36-4 札の辻スクエア 11階 / TEL03-3578-2558

JR 田町駅から徒歩4分、都営三田線三田駅から徒歩2分



*資料代 1000円

討論会: 重慶爆撃と ウクライナ戦争

討論者 **石島 紀之** さん

(フェリス女学院大学名誉教授 / 歴史学)

前田 哲男 さん

(ジャーナリスト / 軍事)

伊香 俊哉 さん

(都留文科大学教授 / 歴史学)

《司会・進行》 **纈 纈 厚** さん

今年2月のロシアの侵攻に始まったウクライナ戦争では、ミサイル等を使った空爆が多用されて市民の犠牲が多発し、その映像がテレビやインターネットで頻りに流されています。それは日中戦争で日本が行った中国の戦時首都・重慶に対する戦略爆撃を想起させます。近時、重慶爆撃をカラーで実写した映画『苦干』の映像がアメリカで発見されて中国の大学が入手して話題になっています。

本討論会では、ウクライナ戦争と映像『苦干』を切り口に、司会者の進行のもとで3人の討論者に、今に続く「空爆の歴史」と日本軍が敢行した「重慶爆撃」について、自由かつ大胆に深掘りしていただきます。会場参加者からの発言も予定しています。

*映像提供: カラー映像『苦干』(抜粋約30分: 1940年当時の重慶爆撃と四川・貴州・広西等の中国西部の民衆の生活を中心に)

*資料配布: 『世界』2022年10月号「重慶爆撃から考えるウクライナ戦争—映画『苦干』の再発見を機に」(石島・前田・伊香)

主催 **NPO法人都市無差別爆撃の原型・重慶大爆撃を語り継ぐ会** 2022.10.1

共同代表 伊香俊哉(都留文科大学教授)、前田哲男(軍事ジャーナリスト)、纈纈厚(山口大学名誉教授)

栗遠奎(重慶爆撃犠牲者遺族)、馬蘭(成都爆撃犠牲者遺族)、雷時仁(梁山爆撃犠牲者遺族)

▼〈連絡先〉〒105-0003 東京都港区西新橋1-21-5 一瀬法律事務所 TEL03-3501-5558, FAX03-3501-5565

E-mail: info@ichinoselaw.com Webサイト <http://www.anti-bombing.net> ブログ <http://blog.goo.ne.jp/dublin-ki>

▼〈会費・カンパ〉郵便振替口座 口座番号: 00190-5-728232 口座名: NPO 法人重慶大爆撃を語り継ぐ会